

主な質問

Q. ポンプ場供用開始後の管理体制はどうなりますか。

A. 基本的に遠隔監視・操作で無人となります。

Q. 計画の対象となる雨水量はどのくらいですか。

A. 時間最大 50mm 対応の計画としています。

Q. ポンプ場が供用開始されるまでの市川南地区の浸水対策はどうなっていますか。

A. 平成 29 年 4 月に大和田ポンプ場が供用開始したことにより、現在、市川南地区では秣川排水機場と合わせて 2 機場で排水している状況です。

Q. ポンプ場建設予定地への工事車両の進入路はどうなりますか。

A. ポンプ場から江戸川に放流するための樋管工事については、国道 14 号市川橋近くから江戸川河川敷内の工事用仮設道路を使用します。また、ポンプ場本体工事やポンプ場への流入渠工事については、市川南 4 丁目 6 番付近にある堤防の緊急資材搬入路から堤防上に入り、建設現場まで運搬できるよう、現在、河川管理者と協議中です。

Q. ポンプ場完成後の騒音や臭いはありますか。

A. 大和田ポンプ場と同様に市川南ポンプ場は密閉された建物となることに加え、雨水のみ流入するポンプ場のため発生する臭気は少ないと考えます。また吸音材や消音装置などを設置することで、できるだけ騒音が発生しないよう計画しています。

Q. ポンプ場予定地の南側・東側の狭い道路はどうなりますか。

A. 用地周囲の道路はセットバックをするため、道路空間としては広がる予定です。